

## 第20回伊東市子ども・子育て会議議事録

日 時 令和2年7月28日(火) 15:00～16:00  
場 所 伊東市役所 2階中会議室  
出席者 委員13名、参与2名、事務局5名

### 開会

- (1) 新委員の紹介
- (2) 委員委嘱
- (3) あいさつ

### 1 報告事項

- (1) 幼稚園取組事項について(資料①-1)
  - 休園の幼稚園の貸出状況の報告。
  - 資料には記載されていないが、鎌田幼稚園については本年度から9月末まで伊東市役所環境課に貸出を行っている。また、竹の台幼稚園については、風水害時のペット同行避難所としても使用。
- (2) 保育園取組事項について(資料①-1)
  - 八幡野保育園指定管理者の募集についての報告。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に伴う幼稚園・保育園等の対応について(資料①-2)
  - 令和2年7月20日現在までの幼稚園、保育園、放課後児童クラブ、子育て支援センターの対応内容について報告。

### 2 議題

- (1) 会長、副会長の選任について
  - 会長の選任について
    - ・委員 これまでと同様教育部長の岸委員を会長に推薦します。  
(委員意見なし)
    - 岸委員、会長に就任
  - ・会長 続きまして副会長の選任についてです。発言等お願いいたします。
  - ・委員 これまでと同様伊東市公立保育園園長会代表の高橋委員を会長に推薦します。  
(委員意見なし)
  - 引き続き高橋委員に就任
- (2) 子ども・子育て支援事業計画について
  - ア 令和2年度幼稚園・保育園入園状況について(資料②-1)
    - 入園児数において、前年と比較して公立幼稚園は減少、私立幼稚園は増加しており幼稚園全体としては68人の減少となった。保育園は保育ニーズの高まりにより、全体として10人の増加となった。保育園の年齢別における入園状況としては3～5歳は8人減少、1～2歳は4人増加、0歳児においては16人の増加であった。また、0歳児については、産休・育休明け等で途中入所を希望する方が多く、4月1日時点での

入所希望人数は例年少ない。

イ 令和元年度地域子ども・子育て支援事業の実施状況について（資料②-2）

・委員（質疑なし）

（3）幼稚園・保育園の今後のあり方検討について（資料③）

会長 事務局から、幼稚園・保育園の今後のあり方検討について説明しましたが、質問等ございましたら、お願いします。

委員 事前にいただいた資料については、「素案」となっていたが、本会議では「案」に格上げされていたがそれはなぜか。また、資料の内容について、認定こども園についてあまり触れられていないが、あり方における検討案としてもっと触れたほうが良いのではないかと思う。

事務局 「素案」が「案」に格上げされた件について、内容として大幅な変更等は無いが、文字の使い方や言い回しを再度事務局で協議したため今回「案」とした。具体的には、P5-4の障害児を障がい児の標記に変更、P9-7の「なお、」からの文章を修正した。

会長 事務局としての案であり、今後庁内職員で話し合い内容を深めていく方針なのでご了承いただきたい。

（4）その他（子ども・子育て支援事業計画等全体についての質疑について）

会長 その他について、子ども子育て支援事業計画について等質問がありましたら、お願いします。

委員 認定こども園に力を入れていないのはなぜと思うことがある。資料③のP6の問15でも市内に認定こども園を設置して欲しいと思うかという問いに対し47.1%が設置してほしいと回答している。公立私立統廃合を行いこども園を設置してはいかがか。

事務局 人材教育を含めての人材の確保や土地や建物の確保等の問題によりなかなか認定こども園の設置が進まない状況がある。

委員 平成27年度から、認定こども園は周知され、その時に静岡市は認定こども園を設置した。他市町がどのようにしていくのかも参考の一つでもあるが、どの市町村でも子どもが減少傾向にある中で市の財政を使って効率的に運営していくために私立に移譲していく形で対応している。

事務局 事務局として今後参考にしていけたらと思う。貴重なご意見ありがとうございます。

委員 放課後児童クラブについて、新型コロナウイルス感染症対策のため、自粛として学校を休校としていたがその間も学校の教職員は通常時と変わらない業務量があった。他市町村では学校教職員が子どもの預かりや受け入れを行っていたという。もし、教職員が預かりや受け入れ対応も併せてたいおうしていたらパンクしていたと思われる。なので、対応をしていただいた放課後児童クラブの存在はとてもありがたかった。放課後児童クラブの現場では大変であったという声を聞いたので、もし今後このような事態がおきた際には、学童支援員の給与や待遇を良いものにして欲しい。

会長 学童支援員の頑張りや、大変さについては話がきており、とても緊張感をもって対応されていたとのこと。また、校長先生など先生方が学童の様子を見に来ていただいたり、学校の備蓄物資を提供していただいたりなどしていただき、とてもありがたかったと聞いている。

事務局 今後自粛といった事態が無いことを祈りたいが万が一起きた際は先生方に学童支援員や子供たちにお声かけていただけると励みになるためお願いしたい。

会長 伊東市学童保育連絡協議会の代表として、現場の声や要望等何かあったか。

委員 支援員も人数が少なく、感染症対策等で気を遣う中、とても頑張ってくれていた。今回新型コロナウイルス感染症による対応としての利用料の日割りとする一方、人数が多い少ないにかかわらず光熱費がかかることにより、学童支援員の給与にも係わってくる。経済支援をいただけるとありがたい。

事務局 長時間の勤務については国からの補助金が出ており、対応が可能と思われる。さらに、国からの2次補正がでており、消耗品や備品などコロナ対応に関わるものについては放課後児童クラブに予算がついている。

会長 各委員より全体を通してその他御意見等はございますか。

(各委員より意見)

・延長保育を行っている園が少ないため、お迎えに行くために時間に追われて仕事をしている保護者が多いように感じる。

・伊東市内に託児所が少ない気がする。保護者が時間を気にせず働けるようになるためにも託児所が増えたら良いと思う。

・コロナにより休校になり子ども達が自宅待機をしていた。学校から課題等  
は出ていたが、学びの場が少ないように感じた。保護者の間でも他市町でオ  
ンライン授業を行っており、そういったものを行って欲しいという声を聞  
いた。

また、学童支援員の方の大変さをとても感じた。物資や人が不足している  
という話も聞いたので人や物の支援があり、安心して送迎や利用ができれ  
ば良いなと感じた。

・新型コロナウイルスの対策や対応にとっても神経を使った。マスク等の物資  
の備蓄の大切さを感じた。

現在市内の小学校や幼稚園の休校、休園が多く、地区によっては小学校や  
幼稚園、保育園の交流が難しい印象。質の高い交流を行えるようにしてい  
きたい。

・少子化の影響で幼稚園の休園が増えてきており寂しいと思うことがある。  
保護者の方でもあと何年大丈夫だろうか（通っている園、通う予定の園が休  
園しないだろうか。）、休園により転園になってしまったらどうしようか等  
の声が上がっている。認定こども園におけるあり方を検討していきたい。

・家庭児童相談件数について、休校や外出自粛が行われていた5月について  
は相談件数が減少傾向であったが、6月からは学校の再開により相談件数  
が増加した。また、父親からや両親で来る相談が以前に比べて多く、今まで  
に無かった内容の相談が多く感じた。

・母親側の情報収集の速さを感じた。子ども側と親側の新型コロナにおける  
対策や対応の目線の違いを感じた。

・親族が他市町の私立の保育園に通っているが先生や職員が多くいたので、  
伊東市の人材不足という話に驚いた。

会長・事務局 皆様の御意見を今後の課題として検討していきたいと思えます。

会長 他に質疑はございませんか。  
ないようですので、この議事を全て終了させていただきます。  
ありがとうございました。

閉会 (子ども・子育て会議については年2回実施する予定。新型コロナウイルス  
感染症対策のため、次回会議については書面での報告も検討をしている。)